

運動会のゴールを、どのような“言葉”で迎えるか

運動会を迎える一週間ほど前、私たち古知野西小学校の教職員は、「運動会のゴールを、どのような“言葉”で迎えるか」という取組を行いました。

標記の取組は、「運動会を終えた時、子どもたちにどんな言葉を投げかけたいですか」という校長の問いに対して、教職員がそれぞれの担当する子どもたちの姿を想像し、運動会が終わり子どもたちに対面した場面をイメージして、子どもたちに語る言葉を書き表してみるというものです。このように“言葉”にしてみると、子どもたちへの願いが明確になってきます。運動会を通して子どもたちにどのような成長を遂げさせたいのか、運動会のねらいを定めることができます。

さて、古知野西小学校の教職員は、どのような“言葉”を思い描いているのでしょうか。下記にキーワードのとなる言葉を列挙します。

- 力いっぱい ○にっこり ○友達の良いところをたくさん見つけていたね。
- 自分自身も、一緒に頑張った友達も、見に来たおうちの人も、みんなハッピーになれたね。
- 一生懸命にやれたことは、これからの自分のためになるよ。
- 最後まで本気で走る姿を見て、私は幸せだな、と感じたよ。
- 息がぴったりだったよ！気持ちがそろっていたね。
- 一人じゃこんな気持ちになれない。みんなで協力して頑張ったからこそ味わえた気持ちだね。
- 適当にやっていたらこんな気持ちになれない。全力を出すって、気持ちがいいね！
- 学級としても、学年としても、心を一つにできたね。
- あ～楽しかった♪ ○目標を達成できたね！ ○～さん、すごいねえ。
- 一生懸命の姿が素敵でしたよ。
- いい表情していたよ。 ○互いに声を掛け合うことができたね。
- 「全員参加、全員協力、全員成長」の意味を、みんな自身が実感できたんじゃないかな。

古知野西小学校の学校経営方針は、「言葉を大切にした学校づくり」です。教師が発する言葉の力で、子どもたちの自己肯定感、他者受容、自己実現などの高まりを支えたいと思います。運動会がその機会になることを心から期待しています。運動会の取組を通して、「一人一人のいいところを必ず見つけ、一人一人全員に声をかける」と書き記した教員がいます。うれしいことです。

校 長 天 野 拓 夫